

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

尾張旭市地域公共交通計画の評価等結果（令和6年4月～令和7年3月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
【基本方針1】 広域移動を支える都市間交通ネットワークの形成 【評価指標1】 公共交通全体の利用者数 基準値(R4年度)：12,290千人 目標値(R15年度)：13,619千人	・国道363号を運行する名鉄バス、名古屋市営バスに対して、要望活動を実施。 ・交通事業者への要望活動の機会を通じ、利用者ニーズ等についての情報交換を実施。	事業者が有する乗降人員データ	【順調に推移】 ・R6年度実績値：13,306千人 ・R5年度の12,968千人から338千人増加し、順調に数値を伸ばしている。	要望活動、情報交換を継続実施。	
【基本方針2】 鉄道駅を中心とした生活交通ネットワークの形成 【評価指標2】 名鉄瀬戸線各駅での公共交通の利用者数 基準値(R4年度)：9,816千人 目標値(R15年度)：10,910千人	バスロケーションシステム導入による利用状況のデータ化や、市営バス利用者へのアンケート調査によるニーズ把握を実施し、乗り継ぎ利便性の向上を図る。	事業者が有する乗降人員データ	【順調に推移】 ・R6年度実績値：10,566千人 ・R5年度の10,333千人から233千人増加し、順調に数値を伸ばしている。	運行の最適化に向けた検討資料とするため、利用状況データや利用者ニーズを引き続き収集。	
【基本方針3】 安全・安心・円滑な移動環境の創出 【評価指標3】 名鉄瀬戸線各駅での公共交通の利用者数 基準値(R4年度)：9,816千人 目標値(R15年度)：10,910千人	・見やすく分かりやすい運行情報を提供するため、バスロケーションシステムを導入。 ・他市営バスや名鉄バスとの乗継拠点となる停留所を示したルートマップ及び時刻表を転入者に配布する。	事業者が有する乗降人員データ	【順調に推移】 ・R6年度実績値：10,566千人 ・R5年度の10,333千人から233千人増加し、順調に数値を伸ばしている。	・バスロケーションシステムの周知、利用促進活動により、更なるシステム利用者の増加を図る。 ・転入者に対して市営バスルートマップ及び時刻表の配布を継続実施。	
【基本方針4】 関係者の連携・協働による取組の推進 【評価指標4】 関係者の連携協働による取組件数 ※懇談会・地域公共交通会議開催数、利用促進等を目的とした広報誌への記事掲載やイベント参加の合計件数 基準値(R4年度)：5件 目標値(R15年度)：10件	・市営バスについて意見交換を行う懇談会を開催する。 ・市広報へ公共交通利用促進に関する記事を掲載。 ・外部イベントに参加し、市営バス車両展示、乗車体験等のPR活動を実施。 ・交通事業者と連携し、市営バス停留所に近接する他バス路線停留所への案内図を掲示。 ・民間交通事業者と連携に向けた協議を実施。	当該取組の件数	【順調に推移】 ・R6年度実績値：8件 (懇談会1件、地域公共交通会議3件、広報誌掲載1件、外部イベント参加3件) ・R5年度の6件から2件増加し、順調に数値を伸ばしている。	・市営バス利用者懇談会を継続実施。 ・市広報への公共交通利用促進に関する記事掲載を継続実施。 ・各外部イベントへの参加を継続実施。 ・連携強化のため、関係交通事業者との継続的な協議を実施。	

(記載に当たっての留意事項)

- ・本様式中、表題の「(〇年〇月～〇年〇月)」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「-」と記載して下さい。
- ・一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。